

受付番号	アドバンス柏株式会社
R112030112	
事業テーマ	聴覚障がい者の採用と口腔内スキャナー等を活用した生産体制の改革



アドバンス柏株式会社  
ADVANCE KASHIMA CORP.  
第13期 経営方針説明会&入社式

令和元年度補正ものづくり・商業・サービス  
生産性向上促進補助金

社長の一言



事業実施の成果

◇最新のデジタル機器導入について、設備導入トレーニングを含め、導入作業を計画通り実施しました。  
◇歯科技工物製作のデジタル化と人員配置の適正化の成果について、計画前と計画後の比較を行った結果、技工物製作時間の短縮等「生産性の向上」を確認することができました。又、品質の安定化、短納期の実現や製作コストの削減に成果を得ました。  
◇本事業の諸施策により、労働環境が安定し、より働きやすい職場環境づくりを実現することができました。これら成果が、聴覚障がい者の採用、活用に繋がりました。

歯科技工所、アドバンス柏株式会社の大学でございます。ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金の活用によって多くの中小企業がアイデアを形にするチャンスが生まれたのではないかと感じています。千葉県内唯一の歯科技工士養成校であります「筑波大学附属聴覚特別支援学校高等部専攻科 歯科技工科」(※現在は募集停止)の卒業生が活躍しやすい職場環境整備に当社で取り組む事が長年の目標でしたが本補助金に採択され、その一歩を踏み出すことが出来ました。今後も補助金を活用して聴覚障がい者の方に限らず、歯科技工士として活躍を願うすべての方に当社の経営理念「歯科技工所社員の理想郷をつくる」を実現し、ご活躍いただけるよう邁進して参ります。



本事業への取組みの経緯・目的

当社は、デジタル化する新しい歯科医療ニーズに素早く対応すべく、蓄積した伝統の歯科技工技術・ノウハウを活かしながら、日々、新しい技術・技能の開発、向上に挑戦しています。又、従業員の成長と夢の実現が患者様、歯科医院の皆様に満足いただける技工物の製作に繋がると考え、「歯科技工所社員の理想郷をつくる」を企業理念に掲げています。当業界は、◇歯科技工士の減少・高齢化と離職率の高さ、◇歯科技工物の多様化、等の喫緊の課題を抱えています。一方で、高齢者増に伴う歯科技工物需要の拡大が見込まれています。本事業では、最新の設備を導入し、生産体制の革新を行い、生産性向上を図ります。又、導入設備を活用し、技術者が働きやすい、より活躍しやすい職場環境づくりを実現し、聴覚障がい者の採用、活用を実現します。これら施策を推進することで直面する経営課題の解決を図ることを目的として取り組みました。

今後の展望

本事業で効率的な生産体制を構築したことで、当社として医療のデジタル化に対応した新たな強みを付加することができました。今後も、生産体制の革新・強化を推進し、競争優位性を高めることで受注の拡大、収益性の向上を図っていきたく考えています。また、より働きやすい職場環境づくりを目指し、今後の事業拡大に向け、技術人材の育成も図っていく所存です。

企業データ

主な事業・業種	歯科技工物の製造販売・歯科技工業
得意分野	デジタル歯科技工
所在地(本社)	〒277-0832 千葉県柏市北柏3-1-2寺田ビル2F
TEL	04-7107-2276
FAX	04-7108-2276
設立	2011年2月
代表者	大学 泉介
従業員数	20人
資本金	300万円
売上高	1億6000万円
URL	<a href="https://advance-k.xyz/">https://advance-k.xyz/</a>
Email	<a href="mailto:advancelabo@yahoo.co.jp">advancelabo@yahoo.co.jp</a>

実施内容

歯科技工物製作の生産性向上と安定供給並びに従業員がより働きやすい職場環境づくりを実現するため、以下の施策を実施しました。  
◇歯科技工物製作のデジタル化を実現するため、生産レイアウトを再設計し、最新のデジタル機器（CADソフト、3Dプリンター等）を導入しました。  
◇高齢化や技工士不足への対応施策として、若手の聴覚障がい者の採用を2021年4月から開始しました。現在2名の歯科技工士が在籍しています。最新設備の使い方には字幕編集した動画マニュアルを活用するなど人員配置の工夫を含め、2人が活躍できる職場環境づくり施策を推進しました。  
◇生産性向上、労働環境の安定化の成果を踏まえた働き方改革を推進しました。

